

(様式1)

校 種	小・中 どちらかに○	学校番号	45	学校名	宇都宮市立姿川第一小学校
-----	---------------	------	----	-----	--------------

令和7年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

人間尊重を基盤として、心身ともに健康で、自ら学び正しい判断力と実践力のある心豊かでたくましく生きる児童を育成する。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

合言葉「なかよく かしこく げんきに がんばる 姿一の子」

【なかよく】	【かしこく】	【げんきに】	【がんばる】
心豊かで 思いやりのある子	深く考え よく学ぶ子	健康で たくましい子	ねばり強く やりぬく子
基本的な生活習慣を身に 付け、他を思いやる心で行動 する子	自ら考え、判断・行動す るための基礎的な学力を身 に付けている子	心身の健康のために、 自らの体力向上に取り組 む子	強い意志をもち、自 己実現のために最後ま でやりぬく子

2 学校経営の理念

学校・家庭・地域が信頼し合い、相互に関わりながら充実した学校経営を実践するために「活力あふれる学校」「たくましく生きる力を育む学校」「共に伸びていく開かれた学校」を目指す。

児童にとって 「通うのが楽しい学校」

教職員にとって 「やりがいのある学校」

保護者にとって 「信頼できる、通わせたい学校」

地域にとって 「地域が参画できる学校」 でありたいと考える。

3 学校経営の方針

職員相互の信頼関係と協働性を基盤に、『地域とともにある学校』として、保護者や地域社会から信頼され、相互に連携・協力し合いながら、夢と希望を抱き、児童も家庭や地域も教職員も共に成長していく学校」を推進し、学校教育目標の具現化を目指す。

(1) 児童のよさや個性が発揮でき、互いに関わり合い・認め合い・励まし合いながら豊かな人間性を構築し、よりよく生きようとする力を育成する。 (心の教育の充実)

(2) 単元を見通した授業展開を大切にし、学ぶことの基礎・基本の習得を図るとともに、それを活用して主体的に課題を解決する力を育成する。

(主体的・対話的で深い学びの実践)

・教材や1人1台端末等のICTを効果的に活用しながら「宇都宮モデル」(「はっきり」「じっくり」「すっきり」)の実践

・発達の段階を踏まえた学級担任間の授業交換を基本とする教科担任制の推進、**拡充**

- (3) 様々な活動を通して、達成感や成就感を味わわせることで、目標をもち、自ら学ぼうとする意欲を育成する。(学ぶ意欲の高揚)
- (4) 基本的な生活習慣を身に付け、自ら健康や体力づくりに励み、自己実現のために、たくましく生きようとする態度を育成する。(たくましさの涵養)
- (5) 特別な教育的支援が必要な児童一人一人が、自信と意欲をもって学校生活を送れるよう支援体制を強化し、適切な支援の充実に努める。(特別支援教育の推進)
- (6) 地域の教育資源や資料等を活用し、体験的活動や交流活動を通して、郷土への愛情と誇りを育む学習の充実に図り、特色ある学校づくりの推進に努める。(生き抜く力の育成)
- (7) 小中一貫教育・姿川地域学校園、魅力ある学校づくり地域協議会による地域や保護者との連携強化を図り、地域とともにある開かれた学校づくりを推進する。(地域と協働した開かれた学校)
- (8) 教育公務員としての誇りと使命感を自覚し、サービスの厳正に努めるとともに、意欲をもって研修及び自己研鑽に励み、指導力の向上と誰からも信頼される教職員として主体性と想像力をもって職務に励む。(教職員の資質・能力の向上)
- (9) 教職員の心身の健康の保持増進を図り、教育の質の向上と児童の健全で豊かな成長を目指すために、業務の効率化の推進と勤務時間を意識した働き方を推進する。(教職員の働き方改革の推進)

[姿川地域学校園教育ビジョン]

発達段階に応じた教育活動を通して、基礎・基本の定着を図るとともに、心豊かな子どもを育てる
～9年間の学びを通して～

4 教育課程編成の方針

【基本方針】

学習指導要領の趣旨を踏まえながら、基礎学力の定着や、豊かな心を育成し、児童一人一人のよさを伸ばし、夢や希望を育むとともに、地域に開かれた信頼される学校づくりを目指し、組織としての取組を強化しながら、特色ある教育課程の編成に努める。

【留意点】

- ・学校経営の理念及び方針を受け、全教育課程において意図的・計画的・系統的・横断的にその具現化を図る。
- ・具現化のために、各教科、特別の教科道徳、特別活動、総合的な学習の時間など教育課程相互の配置のバランスを図るとともに各教科の関連付けを図りながら、時数を確保する。
- ・計画的でありながら重点化が図られ、柔軟性をもちながら機能的で、教育活動規模等について調和のとれた実施計画を作成する。

5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

(1) 学校運営

- ・「地域とともにある学校」を目指し、地域学校園、保護者、地域、各種団体との「つながり」を深めながら、地域の教育力を生かした教育活動の工夫・充実に努める。
- ・**教職員が児童に愛情をもって接しながらよさを認め、可能性を最大限引き出す指導を行う。**
- ・全ての教職員が、主体性と想像力をもって個人の力を発揮し、「和」を大切にしながら、信頼と協力に満ちた明るく開かれた学校づくりに努める。
- ・勤務時間を考慮した時間設定やメリハリのある働き方ができる学校組織のマネジメントを重視し、校内組織力の強化を図る。(姿川第一小学校教育課程構造図の活用)

(2) 学習指導

- ・主体的に聴き、学ぶ児童の育成

○学びをつなぎ生かす授業の実践と家庭学習の習慣化に向けた指導の工夫

(3) 児童生徒指導

- ・思いやりの心をもち、望ましい集団づくりを目指した学級経営の充実

○あいさつができるとともに、集団や生活のきまりやマナーを守ることのできる児童の育成

(4) 健康（体力・保健・食育・安全）

- ・運動の楽しさや健康でいることの大切さが実感できる体育指導の充実と健康・安全教育の推進

○自ら進んで健康の保持増進に努め、体力を高めようとする児童の育成

6 学習指導、児童生徒指導、健康（体力・保健・食育・安全）に関する取組

※ 様式2～4 参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

(1) 育てたい資質・能力

- ・出会い、ふれあい、つながりを大切にした体験的な活動を通して、相手を思いやる心とコミュニケーション力を身に付け、望ましい人間関係を構築するとともに、進んで学び合おうとする態度を育成する。

(2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

◇ 「つながりプロジェクト」 キーワード「つながり」

○心・人とのつながり

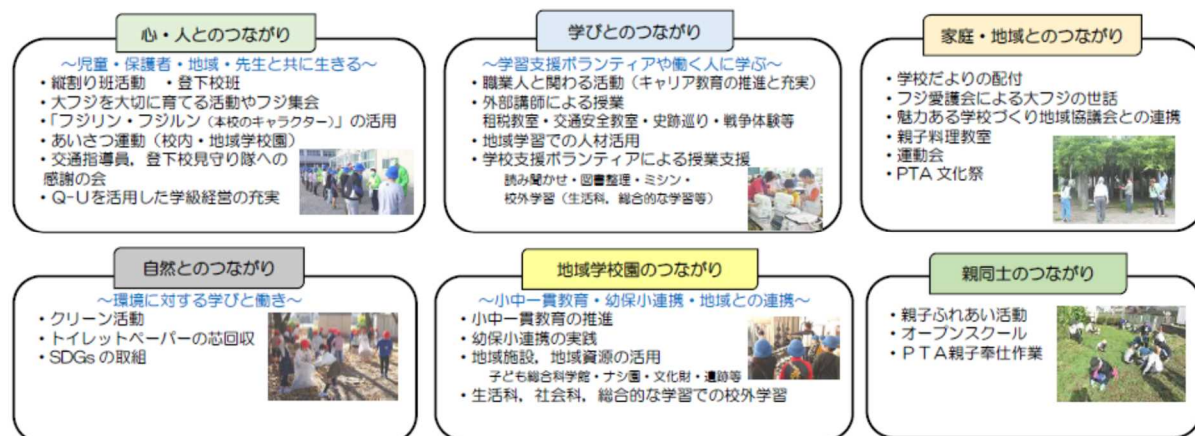
○学びとのつながり

○家庭・地域とのつながり

○自然とのつながり

○地域学校園のつながり

○親同士のつながり



8 本市の重点施策・事業との関連

(1) 地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会との連携・協働を含む」）

①基本的考え

- ・姿川地域学校園、魅力ある学校づくり地域協議会、保護者、地域、各種団体との「つながり」を深めながら、地域の教育力を生かした教育活動の工夫・充実を図る。

②主な取組

- ・うつのみや学校マネジメントシステムの学校評価について、アンケート結果や課題についての意見交換を行うとともに、ホームページや学校だよりで教育活動を公開し、学校教育への理解と協力を得る。

- ・魅力ある学校づくり地域協議会の協力を得ながら、目的を共有した教育活動を行う。

＊フジ愛護活動＊登下校見守り隊＊親子料理教室＊読み聞かせ＊学習支援ボランティアなど

(2) 小中一貫教育・地域学校園

①基本的考え

- ・9年間の学びを通して、発達段階に応じた教育活動を通して、基礎・基本の定着を図るとともに、心豊かな子どもを育てる。

②主な取組

- ・学力向上，生活，健康推進，食育推進，学校図書館司書，事務，交流の7部会で具体的な取組を検討し，姿川中，姿川中央小と連携を密に進めていく。乗入れ授業も中から小は残し，児童に有効な交流になるよう交流部会担当学年で計画を立てていく。

学力向上部会	生活部会	健康推進部会	食育推進部会
・学びをつなぎ生かす授業の実践 ・家庭学習の習慣化に向けた指導の工夫 ・小中一貫カリキュラムの充実 ・道徳教育の充実 ・小学校卒業生への学習アドバイス配付 - など	・あいさつ運動 ・生徒会による新入生説明会 ・小中共通生活の重点化 ・小中間の情報交換 ・小学校運動会への中学生ボランティア参加 - など	・歯と口の健康推進 ・衛生検査 ・姿勢と目の健康 ・基本的な生活習慣の確立 ・運動の記録の累積 ・投力向上策の実施 - など	・地域学校園統一献立の実施 ・学校園食育だよりの発行 ・マナーアップ週間の充実 ・地域スーパーに献立表の掲示 ・親子料理教室 ・お弁当の日 - など
学校図書館司書部会	事務部会	交流部会	
・オリエンテーションの充実 ・地域学校園図書だよりの発行 ・読書週間での連携イベントの実施 ・各校でおすすめの本の紹介 ・各校図書館だより - など	・財務情報・行政財産の予算の効果的・効率的な執行 ・地域学校園事務室におけるOJTの実施 ・事務部門の強化による安定した学校事務の提供 ・事務職員の連携による教員が行う事務の効率化 - など	・乗入れ授業 ・授業研究会 ・6年生進学先中学校訪問の実施 ・姿川地域学校園行事調整会議 - など	

(3) 不登校対策

①基本的考え

- ・不登校に対する教職員一人一人の意識を高めるとともに，学校の対応力を向上させ，問題の未然防止や早期発見・早期対応に取り組む。

②主な取組

- ・学校生活に関するアンケートを実施し有効活用を図る。
- ・Q-Uを年2回実施し，要支援群や配慮を要する児童に対しての対応を検討するとともに学級経営を充実させる。「楽しく居心地のよい学級づくり」を目指す。
- ・欠席状況共有シートを活用し，不登校に兆しがみられる児童への対応を学年会議やケース会議等の組織で検討し，全校体制で進める。職員会議の最後に情報共有をする。
- ・教室に入ることが不安な児童には，居場所を提供し，保護者との登校や教職員がその児童とかわかることで安心して登校できるような支援を行う。
- ・「子どもに寄り添う学校づくり 抱え込まずにみんなで支援」を実践する。

- ・連絡手段や学習支援ツールとして1人1台端末の活用をするなど、不登校児童の個々の状況に応じた支援の充実を図る。
- ・家庭との連絡を密にし、SCや宇都宮市教育センター相談部、いきいきグループやSSW等、外部の専門的な機関と連携しながら進める。

(4) GIGAスクール構想

①基本的考え

- ・多様な子供たちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを持続的に実現する教育を目指す。

②主な取組

- ・「すぐにでも」「どの教科でも」「誰でも」使えるICTを実現するために、すべての児童及び教職員が1人1台端末を文具の一つとして、授業の内外で日常的に活用するとともに、効果的な利活用を推進する。
- ・教科の学びを深め、学びの本質に迫るため、すべての児童及び教員が協働学習ソフト等を活用した授業を行う。
- ・教科の学びをつなぎ、社会課題の解決に生かすために、学習指導要領を踏まえ、具体目標を設定していくようにする。
- ・教職員間の温度差やスキルの差が出ないようにするための全体、学年での研修を進める。

(5) 宇都宮学

①基本的な考え

- ・教員自身が宇都宮市、姿川地区に関する理解を深めるとともに、児童にも社会科や総合的な学習の時間での学習を通し、宇都宮市、姿川地区の歴史や産業、文化に対する理解を深める。

②主な取組

- ・社会科、総合的な学習の時間に副読本や教科書を使い課題解決学習を取り入れながら、調べ学習等を展開することで主体的に姿川地区や宇都宮市について学習する。
- ・教育課程に宇都宮学を位置付け計画的、系統的に宇都宮市について学習する。